

老上学区 2021. 1. 31 現在 (対前月比) 人口 9,729人 (+12) 世帯数 4,465世帯 (-1)



わがまち老上だより

老上学区 検索
ふるさと老上のこころ
自主 (進取の心) 協同 (連帯性)
敬愛 (人権尊重)

発行 老上学区まちづくり協議会 編集 地域情報発信委員会 TEL・FAX 077-564-1430
〒525-0055 草津市野路町 520 番地 E-mail oikami@machikyou.jp

老上検定、いかがでしたか!!

正解を求めて東奔西走

1月の広報と一緒に『老上検定』が配布され、この日を境にまちづくりセンターの注目度も一変しました。
ヒントなしでは50問の正解は至難の業。早速ヒントコーナーを設置するためまちづくりセンターのサロン室を整理し、ヒント満載の部屋に改装。検定後は、老上検定の解説を含めた企画展示コーナーとして残っています。

老上を再発見
おうちでワイワイ楽しく
老上をもっと好きになる
応募いただいた方に参加賞をプレゼント!
(抽選も抽賞は1世帯につき1枚のお礼となります。)

老上検定

みんなでチャレンジ!
40問以上正解者に老上検定認定証と副賞を贈呈!

40問以上正解者に老上検定認定証と副賞を贈呈!

センター受付 2月9日(金) 077-564-1430



1月20日 LINE でヒントコーナーの設置をお知らせ、サロン室の利用が今までの5倍に激増。ヒントを頼りにサロン室に用意された資料から答えを求めて1時間以上滞在された方もおられました。

小学校に電話で、市役所の関係部署・図書館にメールで答えを求めたり、設問の現地に足を運んだ方もおられたようです。
学校が終わった後、おいかみやまへ行き、木の確認をしたり、日時計を探しに行ったり、まちづくりセンターの庭の看板を見に行ったりとか・・・



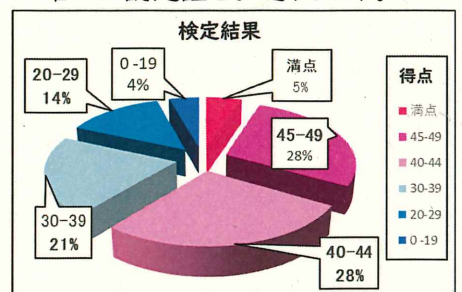
また、まちづくりセンターのホームページへのアクセス数も50%以上のアップ、閲覧時間も3倍に伸びていました。「この検定をきっかけに、家庭で話題ができた」「老上のことが再確認できた」「子どもと一緒に参加して楽しかった」等々のコメントもいただきました。



老上検定の結果は?

応募総数、207通。
40問以上の正解者126名には認定証をお送ります。

満点	11名
45-49	58名
40-44	57名
30-39	43名
20-29	29名
0-19	9名



3月15日付けて「老上検定解答解説集」を発行します。

問題作成委員の声

- ・老上を知るって幅が広いなあ～、いい勉強になった。
- ・いい50問だった。
- ・「老上」をインターネットで検索するとフェイク的なものもある。自分で行って確かめるのが大切。
- ・歴史は新しいエビデンスで、変わっていく、いい素材ができた。
- ・この検定は次へつなげるよりどころになると思う。

老上検定の思い

“検定” この重い響きの言葉の中で、何だか“とっつきにくい”と思われたでしょうか。それとも“名ばかりで”、ご家族皆様で遊び感覚をもって楽しくやっていただけましたでしょうか。昔から今日に至る老上の文化、歴史の変遷を興味をもって知ってもらえたことと喜んでおります。
多くの問題の作成にご苦勞をいただいた委員の方々、編集に携わった者として、一人でも多くの方が“私たちの住む

老上”を再発見していただいた事を大変嬉しく思っております。
この老上検定をきっかけに、新たな発見を求めて町をゆっくりと散歩してみたいいかがでしょうか。
コロナ禍ではありますが、“さあ、出かけてみましょう”
ふれあい交流部会長 中尾 文雄



老上学区の医療福祉を考える会議から

いのちのバトン！お届けします。

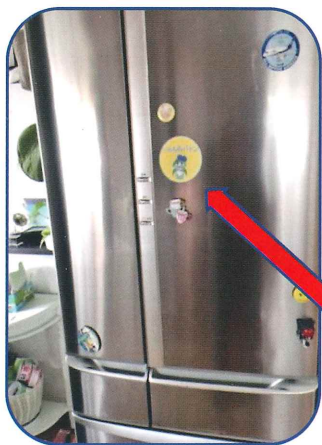
救えるいのちをつなぐ

いのちのバトンとは？



高齢者や障がい者、一人暮らしの方など健康面に不安を抱える方が急病になったり災害発生時、救急隊員や近所の方に必要な情報を知らせ、迅速かつ適切に対応できるように本人の「救急医療情報」を記入し入れておくケースです。

救急医療情報とは？



本人の個人情報、持病や既往歴、かかりつけ医、診療科、担当医師名、服用薬名および連絡先等を、用紙に記入し、ケースに入れて冷蔵庫に保管します。冷蔵庫のドアには誰でもわかるようシールを貼ります。

対象者は？

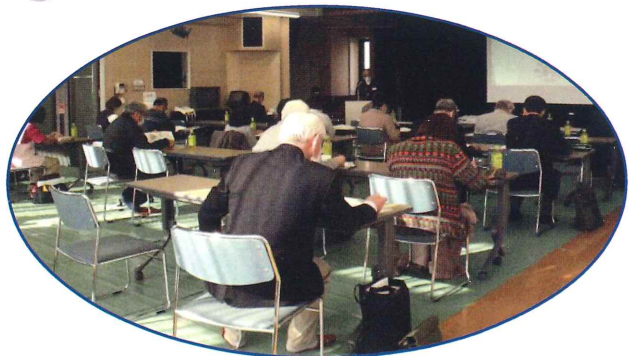
老上学区の70歳以上の方すべてで、1,500人余の方に、新年度早々各地域担当の民生委員・児童委員さんを通じ順次お届けします。

医療福祉を考える会議

この事業は「老上学区の医療福祉を考える会議」で企画立案、検討を行い、老上学区社会福祉協議会が具体化したものです。医療福祉を考える会議では、老上学区の社協、民児協、地域包括支援センター、介護事業所等、および草津市と草津市社協が地域の高齢者の暮らしの問題を「我がこと」と捉えてテーマを設定し話し合っています。



救急病院に搬送
病院への伝達・申し送り
親族への連絡(必要に応じ
近隣町内会にも連絡)



医療福祉を考える会議 (R3.1.28)

- 企画立案 老上学区の医療福祉を考える会議
- 実施主体 老上学区社会福祉協議会
- 配布協力 老上学区民生委員児童委員協議会
- お問合せ 老上まちづくりセンター ☎564-1430

見守ってます スクールガードおいかめちゃん

老上学区のキャラクター「おいかめちゃん」デザインの飛び出し注意看板が登場しました。看板のデザインはおいかめちゃん委員会のメンバーが考え、その名も「スクールガードおいかめちゃん」。まちづくり協議会生活安全安心部会のみなさんが、新たに設置の必要な場所を調査し、16基の「スクールガードおいかめちゃん」を老上小学校 PTA に寄贈しました。老上学区の各所に設置されていますので、皆さん見つけてください。

亀のように
心にゆとりをもって
ゆっくり走ってね。



川ノ下子ども見守り会の方と



子どもたちに声をかける鈴木さん

老上交通安全特集

【交通安全俳句】

木枯らしや とび出し坊や 気をつけて
新学期 交通安全 たしかめて

青空句会



老上の飛び出し坊やのあゆみ

飛び出し坊やとは、児童が道路に飛び出して自動車などと接触する事故を防止する目的で、ドライバーへの注意喚起のために、通学路などに設置されている看板です。

昭和51年ごろ、老上小学校の地域委員の有志が集まり、作成した看板が老上地区で初めての飛び出し坊や看板だそうです。その一人である鈴木さんが製材所にお勤めだったこともあり、板を譲ってもらい、お金をかけずにみんなで板を切り、ペンキを塗り、手作業で作ったそうです。残念ながら現物は残ってはいませんが、今よりひと回り大きいものだったとのこと。現在も子どもたちの安全を願う鈴木さんの気持ちは変わっておらず、ほぼ毎朝老上小学校の子どもたちの登校を見守ってくれています。

その後も老上小学校の PTA 活動で飛び出し坊や看板は作られてきました。地元の熊川工務店のご厚意で板の型抜きをしてもらい、ペンキは自分たちで塗ったそうです。今でも老上学区の随所に手作りの飛び出し坊や看板が残っています。(S.K.)

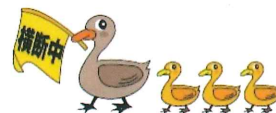


安心安全 まちづくり

人口が増え、道路の拡張・開通することで便利にもなりますが、交通量も増え危険な箇所も出てきます。子どもたちが通る通学路は、特に心配なところ。車両の減速を促すために、とび出し坊やの看板を設置したり、道路上に起伏あるいは段差を施したりしています。そして、地域からの強い要望もあり、川の下交差点にガードパイプが設置され、以前よりも安心して、信号待ちや歩行ができるようになり、また一つ住みよい街になりました。(Y.K.)



ガードパイプで
自転車や歩行者を守ります



街も気持ちもフレッシュに



落ち葉がいっぱい道に広がり、中には人が捨てたゴミもチラホラ。コロナ禍の中でも住んでいる街をきれいにしたいと 63 人の参加で、老上環境美化活動が行われました。



まちづくりセンターから南草津駅の間を歩き、ゴミや街路樹の落ち葉は軽トラック三杯分。

きれいになって気持ちがスッキリし、三密対策をしながらも参加者同士の交流ができました。

老上環境美化活動は「ごみ問題を考える草津市民会議」の老上の審議員からの提案を受け、老上学区まちづくり協議会が住民のみなさんに呼びかけて、昨年 11 月 21 日に実施しました。コロナ禍で延期になった南草津駅西口周辺で行われる「みなくさまつり」前日の清掃活動に替わるものです。また、この日に合わせて、老上学区ボランティア連絡協議会のみなさんが老上中学校周辺の草刈を実施しました。

より住みやすい老上に向けて…

市長とまちづくりトーク 12月23日開催



宅地造成、マンション建設など環境変化の著しい老上学区(南部副都心南草津)において、インフラ整備、防災対策と拠点づくり、高齢化やさまざまなコミュニティに対する考え方のもとでの自治会の運営やまちづくり協議会のあり方など、差し迫った問題について草津市と意見交換しました。

市長からは、他地域の事例、将来の計画、県との協議等自ら回答をいただき、老上まちづくり協議会のメンバーも、日頃から考えるところを忌憚のない意見として述べていました。

一年に一度ですが良い機会の場合と、今後も市長と市民のこのような交流が続くことを願います。

まちづくり協議会

副会長 松村 俊幸



老上ふれあい農業高校

文部科学大臣表彰受賞

おめでとうございます

こどもたちと共に

「地域の子どもは、地域の手で育てる、子どもと大人の共育ち」を理念に活動する老上ふれあい農業高校が令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。開校から21年間、合校長を務めている小寺一久さん。本来なら、東京で受賞式に参加するところですが、コロナ禍のため草津市役所で教育長より授与されました。



令和3年3月1日、受賞式 写真左から、川那邊教育長、小寺氏、老上小学校 山崎校長

おはよう!



『コロナ禍のこの一年で』

青少年育成区民会議は、「あいさつ運動」、青少年の「見守り・健全育成の意識の高揚と啓発」を活動方針に、各機関、各団体および当会議が連携した事業を計画して参りましたが、年始めからの新型コロナウイルス感染拡大、4月の緊急事態宣言の発動により、事業計画がほぼ中止の1年となりました。

しかし、委員さん全員の協力で朝の『愛の声かけ運動』と『愛の声かけパトロール』は例年同様に行うことができました。

また、市民会議の『育成大会』『青少年問題をみんなでトーク』にも参加することができました。

これからもできる範囲内で、できることをやりたいと思っています。

青少年育成区民会議

会長 熊川 勉



みんなが住みたい
と思う街に!

シリーズ「老上みらい応援隊」

わたしにもできる
ボランティア



老上みらい応援隊は自分が関心を持つ分野で、まちづくりに参加できるボランティア活動です。第3回は、子どもたちの笑顔が大好きな、こちらの方々をご紹介します。

③子ども事業サポーター

2000年からスタートした子ども事業『わんぱくプラザ老上』サポーターは、趣旨に賛同された方と各種団体からの推薦の実行委員で構成されていましたが、2018年4月からは、賛同参加いただける方を募集して企画運営しています。サポーターの年齢は幅広く、子どもたちはもちろん、おとな同士もつながり、ふれあっています。

参加してくれる小学生も、仲間になってくださる地域の方々・保護者の方々も大歓迎です。お待ちしております！



わんぱくま (マスコットキャラクター)

光岡梨紗

家庭ではできない経験ができ、子どもの喜ぶ姿が見られてうれしい。サポーター同士も仲良くなれ、温かい雰囲気で居心地が良い。

田巻文

元気をもらえる。我が子も活動の中では素朴な遊びを楽しんでくれるのがよい。

目時かづ子

子どもと大人のナナメの関係作りができ、同年代のお母さんや、地域の方々とも知り合えて、声をかけてもらえるようになって嬉しい。



我が子と一緒に参加しているメンバー

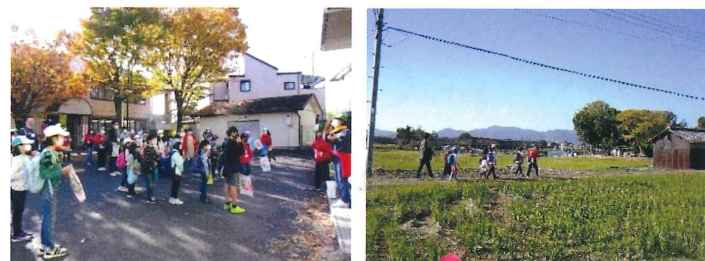
難波里美

子どもたちの笑顔が見られて嬉しい。

熊川勉・山本清治・山口由紀子・佐藤由樹
鈴木節男・中川均・杉江昇・杉江志津乃・杉江香美
奴賀義春・松本義寛・磯嶋玲子・浅田昂人・長谷川香純
—総勢18名の幅広い世代のメンバーが活躍中!—

お楽しみウォークラリー!

11月14日、小学生27名が参加し、秋晴れの下、変わりゆく南笠町方面を散策しました。子どもたちは散策マップを見ながらチェックポイントを目指し、クイズやお宝探しに挑戦しました。



南田山稻荷神社・南笠古墳群・治田神社・南笠七曲がりの道など、歴史を感じる魅力的な場所がたくさん!また、南笠公民館では、思いっきりドッチビーで体を動かしました。子どもも大人も一緒に夢中で楽しみました。

住み慣れた老上学区ですが、まだまだ知らないことがたくさんあり、地元再発見の一日となりました。

新春書き初め大会

1月9日、小学生27名が参加しました。恒例の草川薫人先生による書道パフォーマンス、今年の文字は“勇” Brave!子どもたちに勇ましくあってほしいとの願いが込められました。



紙に自分の好きな字を筆で書いて作った凧をあげたり、参加者の子どもたちが読み手となって、老上学区の紙芝居「おいかめちゃんの大ぼうけん」を楽しむ時間もありました。(nishimoto)



みんなの笑顔に会いたくて

例年、わんぱくプラザ老上は、春の田植えに始まり、夏には小学校で防災キャンプをしたり、秋には県内の山登りやハイキング、年明けの書き初め大会ではおもちつきや大きなフランクフルトを食べたりと、子どもたちのワクワクがたくさん詰まっています。

今年度はコロナ禍ということで、開催を見送った回もありましたが、状況をみながら何度も話し合いを重ね、感染対策をしっかりと行いながら、例年と形を変えて開催することができました。そこには、学校にも行けず、友達とも遊べず、これまで当たり前だった生活が奪われた子どもたちに、ほんのひとときでも笑顔になってほしいと、メンバーみんなの熱い思いがたくさん詰まっています。

(長谷川香純)



おいかめちゃんのページ



かめきちが行く!

～老上かみしばいプロジェクト～

おいかみ

おいかめちゃんの
大ぼうけん
第2弾
期待の第2弾

せまりくるコロナ星人 火星からのSOS

大好評の紙しばい「おいかめちゃんの**大ぼうけん**」の2作目の制作がおいかめちゃんクラブで始まったよ。

第1弾では、新しい本とゲームを探しに宇宙に飛び出したおいかめちゃん。第2弾は、たどりついた火星でのお話になっているよ。今の状況を反映したコロナ星人など、さらにドキドキワクワクの物語。完成をお楽しみに!

おおかみとおおかめ



おいかみ
老上を
世界中に
知ってほしい

「おいかめちゃんの大ぼうけん」、老上に伝わる民話を地域の皆さんが切り絵で作った「おおかみとおおかめ」が、外国語に翻訳されるよ。

翻訳をするのは、地域の外国語を話せる方々とおいかめちゃんクラブの中学生。

世界で老上が有名になる日も近い!?



小学生の時に始まって、中学生になっても続けているおいかめちゃんクラブ。物語を考え、絵を描く活動がとても楽しい。英語の翻訳は、皆と協力してできると達成感が得られます。(ゆい)

中学生
メンバーの
ひとこと



みんなで作ったものが色んな人に見てもらえ、残っていくことが素晴らしい。普段関わらない学年と意見を出し合うのが楽しい。幸運なことにめぐりあえた。(ゆいな)

英語に訳す作業をしました。辞書で調べるのは大変でしたが、これを外国の人が読むのかなと思うとわくわくします。(ゆき)



英語翻訳 坪井美智子 さん

翻訳ボランティアの募集が目にとまり、応募しました。こどもたちによる奇想天外の物語や絵は、なんと楽しくエネルギーに溢れていることか。民話の翻訳も面白く、携わってきた英語が少しでも役に立つのならと喜んで参加しています。



おいかみがっくぼうさい 老上学区防災カルタ pick up! 一身近なものの編

かめりん
コーナー



だんボール
まるめて固定で手当てる
様々な用途に使えるものが
たくさんあります。



ツナ缶で
ひもを入れたらろうそくだ
緊急時に役立つものを
覚えておきましょう。

編集後記

いろいろな行事が中止・延期になり、何を伝えていけばよいのか……。明るく楽しい紙面づくりを目標に、暑い日も寒い日もマスク姿で取材や勉強会をして、私たちも楽しんできました。「あの時は、〇〇だったね。」とマスクをはずして、笑いあえる日が来ることを望みます。(Y.K.)



おいかめちゃん